

震災を越えて —教育の創造的復興10年と明日への歩み—

も く じ

発刊に寄せて 兵庫県知事 井戸 敏三	2
はじめに 兵庫県教育長 武田 政義	3

第Ⅰ部 理念

第1章「新たな防災教育」の原点	26
1 防災教育検討委員会の概要 26	
2 提言「兵庫の教育の復興に向けて」 27	
3 「新たな防災教育」の理念 34	
4 提言の趣旨の具体化 34	
第2章「新たな防災教育」の推進	35
1 防災教育推進協議会 35	
2 防災教育推進会議 35	
3 防災教育推進連絡会議 37	
4 「新たな防災教育」推進体系図 43	

第Ⅱ部 10年間の取組

第1章 学校防災体制の整備充実	46
第1節 災害時に学校の果たす役割 46	
第2節 学校施設の防災機能の充実 58	
第3節 学校防災マニュアル・避難所運営マニュアル等の整備 63	
第4節 校内の防災体制 70	
実践事例 黒田庄町立黒田庄中学校 89	
太子町立太田小学校 91	
豊岡市立港中学校 93	
神戸市立須佐野中学校 94	
第5節 震災・学校支援チーム (EARTH) 95	

第2章 防災教育の取組 105

第1節 全県の推進体制 105

第2節 震災の記録と教材の開発 113

インタビュー 防災教育副読本「明日に生きる」への思い 117

実践事例 三田市立本庄小学校 119

第3節 防災教育指導計画と取組の実際 121

実践事例 淡路町立岩屋中学校 129

西宮市立北夙川小学校 131

揖保川町立神部幼稚園 133

篠山市立今田中学校 135

神戸市立駒ヶ林中学校 139

芦屋市立精道小学校 141

加古川市立山手中学校 143

福崎町立福崎小学校 144

夢前町立置塩小学校 147

北淡町立仁井小学校 151

県立高等養護学校 156

県立神戸養護学校 157

県立北はりま養護学校 158

社会教育施設の活用 人と防災未来センター 145

北淡震災記念公園 149

教材開発の視点 地学分野における地域教材の開発 137

特色学科 県立舞子高等学校環境防災科 152

第4節 ボランティア教育の推進 159

特別寄稿 「震災から学んだこと」文化庁長官 河合隼雄 165

第3章 「心のケア」の取組 166

実践事例 明石市立二見北小学校 182

特集 阪神・淡路大震災10周年教育復興の集い

- 1 阪神・淡路大震災10周年教育復興の集いの概要 188
- 2 記念講演「あの日、あの時、そしていま—震災で学んだこと—」 192
- 3 心のケア部会 パネルディスカッション 196
- 4 周年事業「阪神・淡路大震災教育復興の集い」開催経過 209

第Ⅲ部 提言

兵庫の防災教育 ―10年目の検証を終えて―	212
復興10年委員会総括検証・提言事業 社会・文化部会 教育分科会の経緯	213
提言「兵庫の防災教育」の充実に向けて	214
検証委員のことば	221

資料編

1 年表 ―兵庫の教育の創造的復興の歩み―	224
2 阪神・淡路大震災関係冊子一覧（県教育委員会関係発行分）	226
3 月刊「兵庫教育」震災及び防災教育関連記事一覧	227
4 阪神・淡路大震災の経験をふまえた諸制度の整備等	228
5 阪神・淡路大震災及び防災関係施設の紹介	231
6 阪神・淡路大震災モニュメント	236

索引	245
----	-----

<カラー特集>

教育の創造的復興10年と明日への歩み	9
阪神・淡路大震災の概要	
被害の全容	
被害と復旧状況	
学校関係の被害	
「新たな防災教育」の推進	81
防災教育	
防災訓練	
阪神・淡路大震災10周年記念行事	
県立人と自然の博物館 企画展「大震災を超えて」	
県立歴史博物館 企画展「検証！兵庫の災害史」	
「1.17」は忘れない	201
教育復興の集い	
人と防災未来センター	
県立美術館―「芸術の館」―	
のじぎく兵庫国体開催	
兵庫県立芸術文化センター	

図表一覧

I-2-1	防災教育検討委員会の検討項目とその実施状況	34
I-2-2	防災教育推進協議会の検討項目とその実施状況	35
I-2-3	防災教育推進会議の検討項目とその実施状況	36
I-2-4	防災教育推進連絡会議に係る具体的進行管理状況	38
I-2-5	学校ごとの連絡会議の開催	42
I-2-6	打ち合わせの参加者(会議の構成員)	42
II-1-1	被災地域の公立学校の授業への影響等	50
II-1-2	神戸市立小学校の授業再開までのプロセス	51
II-1-3	開放施設の明確化	54
II-1-4	開放施設の優先順位の決定	54
II-1-5	緊急時の開錠者の決定	54
II-1-6	緊急時の開錠者の内訳	54
II-1-7	学校災害対策本部の設置例	55
II-1-8	避難所支援班の組織率	55
II-1-9	小中学校の耐震診断の実施状況	58
II-1-10	小中学校の耐震補強工事の実施状況	58
II-1-11	県立学校の耐震診断の実施状況	59
II-1-12	県立学校の耐震補強工事の実施状況	59
II-1-13	県立学校の耐震化整備計画	59
II-1-14	エコスクール施設整備状況	59
II-1-15	学校施設の防災対策の実施状況[H16年]	61
II-1-16	避難器具及び避難経路の点検[H15年]	62
II-1-17	災害対応マニュアルの作成状況	64
II-1-18	避難所運営マニュアルの作成状況[H16年度]	65
II-1-19	災害対応マニュアルの見直し状況[H15年度]	65
II-1-20	避難所運営マニュアルの見直し状況[H15年度]	65
II-1-21	防災教育関係の校内委員会の設置状況	70
II-1-22	防災教育関係の校内係の設置状況	70
II-1-23	防災教育関係の校内研修の実施状況	71
II-1-24	防災教育関係の校内研修会の内容[H15年度]	71
II-1-25	防災(避難)訓練の実施回数	73
II-1-26	防災(避難)訓練の実施内容	74
II-1-27	防災(避難)訓練の想定場面	75
II-1-28	引き渡し訓練実施状況	76
II-1-29	防災(避難)訓練の事前事後指導の実施状況[H16年度]	76
II-1-30	防災(避難)訓練の前年度からの見直し状況	77
II-1-31	防災(避難)訓練への参加者	77
II-1-32	震災10周年行事の実施状況	79
II-1-33	震災10周年行事の実施内容	79
II-1-34	平成16年度震災・学校支援チーム(EARTH)員内訳	98
II-2-1	防災教育推進指導員養成講座修了者	108
II-2-2	防災教育年間指導計画(防災教育カリキュラム)の作成状況	124
II-2-3	防災教育副読本の活用状況	125
II-2-4	防災教育副読本の活用内訳	125

II-2-5	防災をテーマとした「総合的な学習の時間」の実施学年	126
II-2-6	防災をテーマとした「総合的な学習の時間」の実施状況	126
II-2-7	地域を素材にした防災教育の実施率	127
II-2-8	一般ボランティア活動者数推計	159
II-2-9	震災時の高校生のボランティア活動(1)	160
II-2-10	震災時の高校生のボランティア活動(2)	160
II-2-11	震災時の高校生のボランティア活動(3)	160
II-2-12	震災時の高校生のボランティア活動(4)	160
II-2-13	「ボランティア実践」実施校数	161
II-3-1	教育復興担当教員の配置数の推移	169
II-3-2	スクールカウンセラーの配置校数(小・中学校)	174
II-3-3	教育的配慮を必要とする児童生徒数の推移	176
II-3-4	要因別に見た教育的配慮を必要とする児童生徒数の推移	176
II-3-5	教育復興担当教員の取組[H16年度](1)	176
II-3-6	教育復興担当教員の取組[H16年度](2)	177
II-3-7	児童生徒の変容[H16年度]	177
II-3-8	教育的配慮を必要とする児童生徒の症状の程度[H16年度]	178

1 本書に掲載している統計(表・グラフ)は、次の調査の結果に基づいて作成したものである。

(1)「防災教育に係る実態調査」

本調査は、各学校における防災教育の現状を把握し、「新たな防災教育」の推進を図るために、平成8年度から実施しているものである。

平成8年度は、各地域から30校程度、全県で小・中・高・養護学校246校の学校を防災教育専門推進員が訪問して校長から聞き取り調査を実施した。平成9年度以降は、県内の全公立学校を対象にアンケート調査(5月1日現在)を行っている。

(2)「阪神・淡路大震災の影響により心の健康について教育的配慮を必要とする児童生徒の状況等に関する調査」

本調査は、震災を直接体験し、震災により心に傷を受け、精神的に不安定な状況にある児童生徒の状況等を把握し、その心の理解とケアの取組に資するために、平成8年度から実施(7月1日現在)しているものである。

平成8～13年度は、県内すべての公立小・中学校の児童生徒を調査対象として実施し、平成14年度以降は、震災の翌年以降に生まれた学年の児童生徒を、順次調査対象から除いている。

2 本書の扉ページに掲載している絵は、次の絵画展に出展された作品である。

「震災復興10周年記念 ひょうご子どもの夢・未来展」

開催期間 平成17年1月19日(水)～1月30日(日)

会場 兵庫県立美術館 原田の森ギャラリー

本絵画展は、震災を乗り越えて頑張ってきた子どもたちをはじめとする全県下の幼稚園から高校生までを対象とした絵画展で、1,300点を超える作品が寄せられた。本誌にはその中から10点を掲載した。